

新たな津波浸水想定公表について

1 経緯

平成 25 年 12 月、新潟県が独自の断層モデルにより最大クラスの津波浸水想定を公表したが、「日本海における大規模地震に関する調査検討会」が内閣府等により設置され、平成 26 年 8 月、国が新たな知見による津波断層モデルを公表した。これを受けて、新しい津波断層モデルを踏まえ、新たな津波浸水想定を作成した。(H 2 9 年 1 1 月 1 5 日 新潟県にて公表)

2 H29 年と H25 年の比較

| | H29 想定 | H25 想定 |
|-----------|--|--|
| 採用した断層モデル | <p>◆国提示</p> <p>①F30(秋田・山形沖)</p> <p>②F34(新潟県北・山形沖)</p> <p>③F35(佐渡北)</p> <p>④F38(越佐海峡)</p> <p>⑤F39(佐渡西)</p> <p>⑥F41(上越・糸魚川沖)</p> <p>⑦F42(佐渡西方・能登半島北東沖)</p> <p>◆県独自</p> <p>⑧長岡平野西縁断層帯、</p> <p>⑨高田平野西縁断層帯</p> <p>※下線:新潟市選定断層</p> | <p>【単独発生】</p> <p>①佐渡北方沖(Aパターン)</p> <p>②佐渡北方沖(Bパターン)</p> <p>③新潟県南西沖</p> <p>④粟島付近の地震</p> <p>⑤長岡平野西縁断層帯、</p> <p>⑥高田平野西縁断層帯</p> <p>【3連動地震発生】</p> <p>秋田県沖・山形県沖・新潟県北部沖地震の</p> <p>⑦同時発生</p> <p>⑧時間差発生</p> |
| 想定計算 | 上記 9 断層の中から地域ごとに影響の大きい断層を選定し、断層モデルごとの計算結果を重ね合わせ、最も影響が大きい値。 | 上記 6 断層の地震に 3 連動地震(同時発生・時間差発生)の想定を重ね合わせ、最も影響が大きい値。 |
| 防波堤 | 全て破壊される | 破壊されない |
| 河川堤防 | 阿賀野川下流・信濃川やすらぎ堤は、堤防耐震対策済みにより沈下しない想定。 | 堤防なし ただし、耐震化済みの堤防は沈下しない。 |
| 表示方法 | 浸水深 1cm 以上を表示 | 浸水深 20cm 以上を表示 |

3 新潟市(東区)への影響

佐渡ヶ島南部に F38 断層(越佐海峡)が海岸線に平行に設定されたため、津波が海岸線に直交方向で襲来し、特に沿岸部及び河口部で到達時間が早くなるなど影響が大きくなった。

新想定では防波堤が「全て破壊される」として計算されている点において、到達時間、浸水域拡大の要因となっている。東区では信濃川河口部、新潟空港付近の海岸線での影響が大きく、早期に津波が到達する浸水域が拡大した。

4 今後の予定

H29 年 11 月～H30 年 3 月 市営船江町住宅(1号棟)への津波避難階段の整備
H30 年度 新潟市津波ハザードマップ作成(各世帯へ配布予定)

1 津波断層モデルについて

H29 公表と H25 公表の津波断層モデルの位置図は図 1 - 1 及び図 1 - 2 のとおり、諸元は表 1 - 1 及び表 1 - 2 のとおりです。

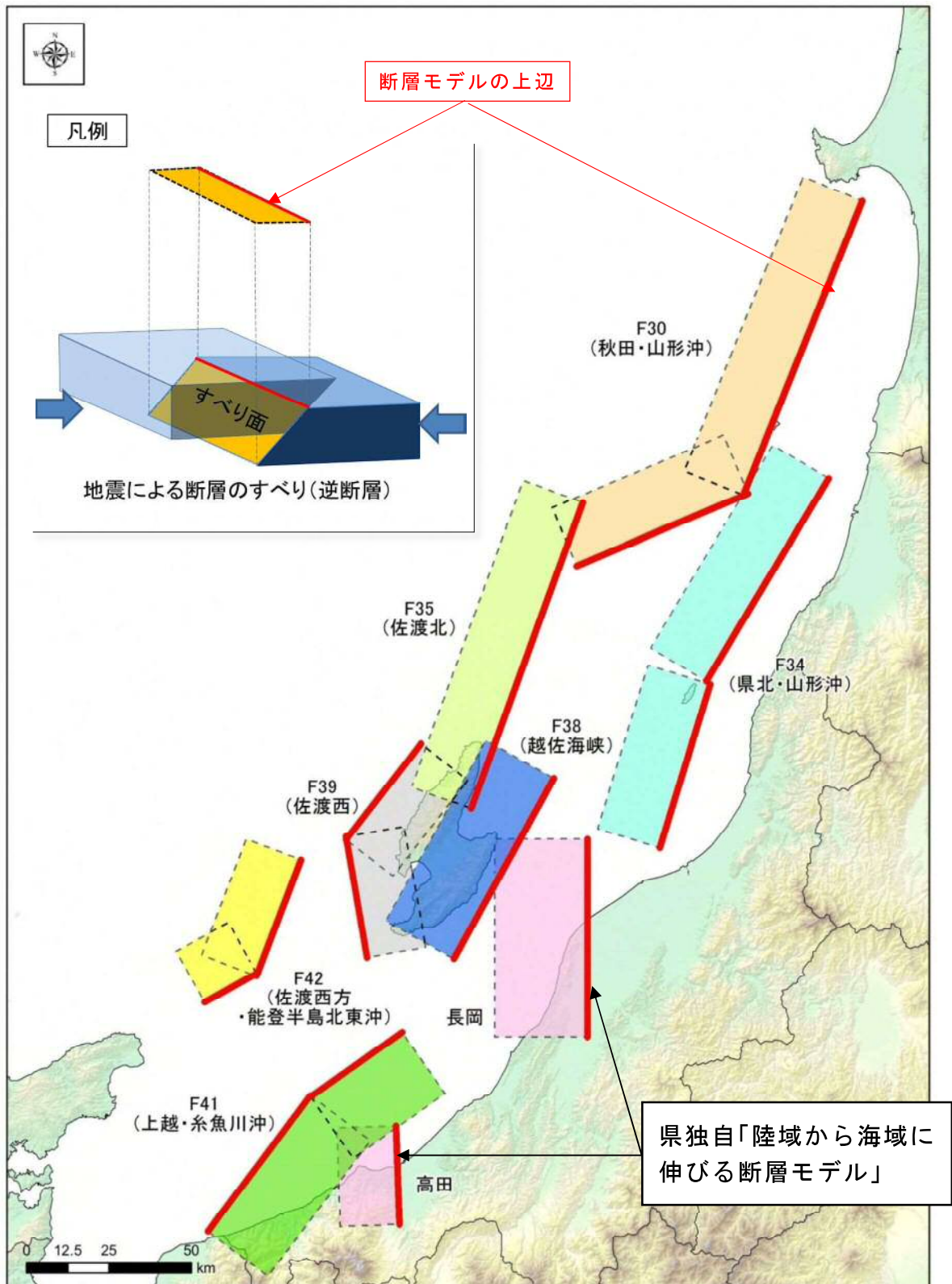


図 1 - 1 H29 公表の津波断層モデルの位置図

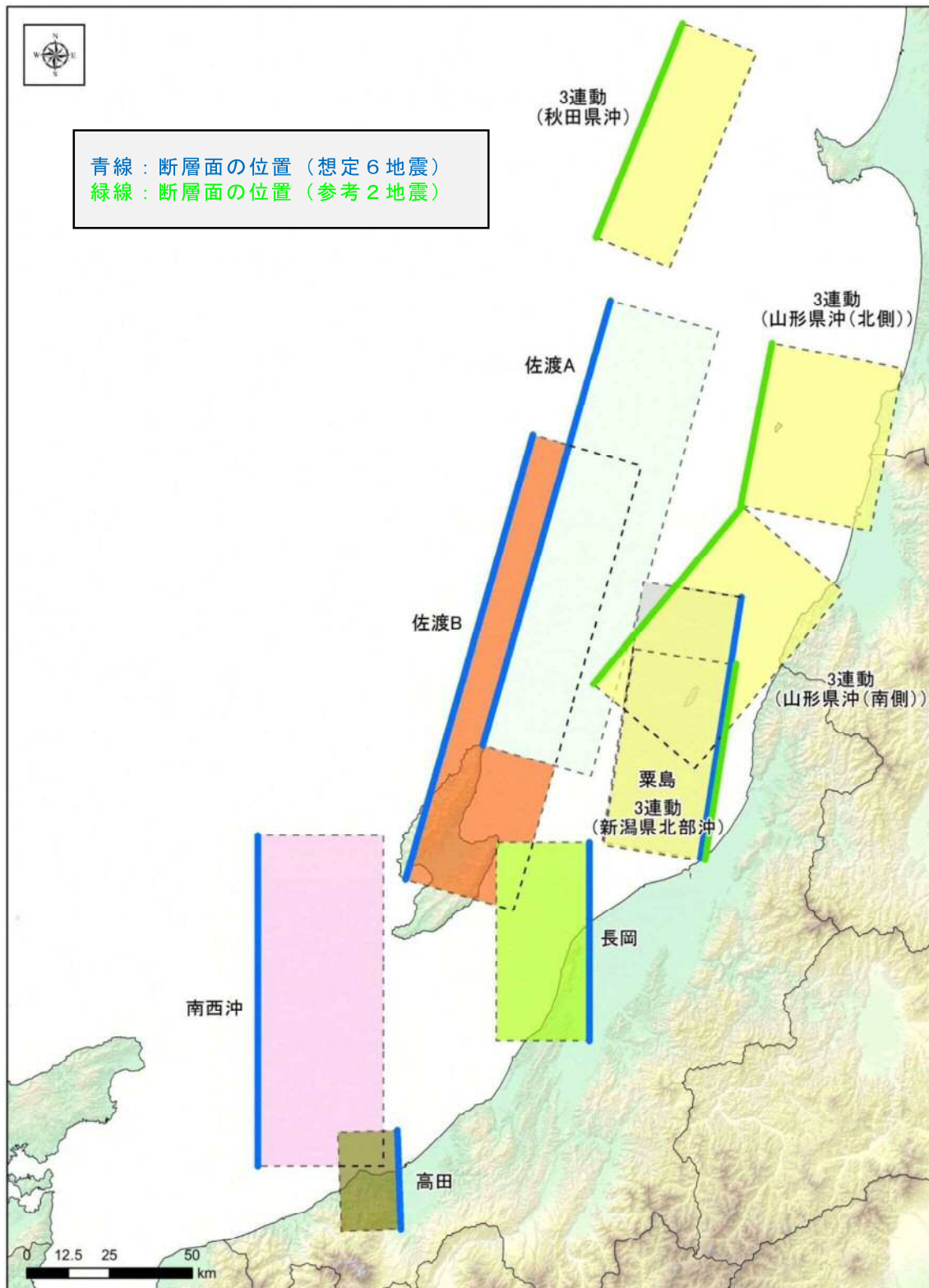
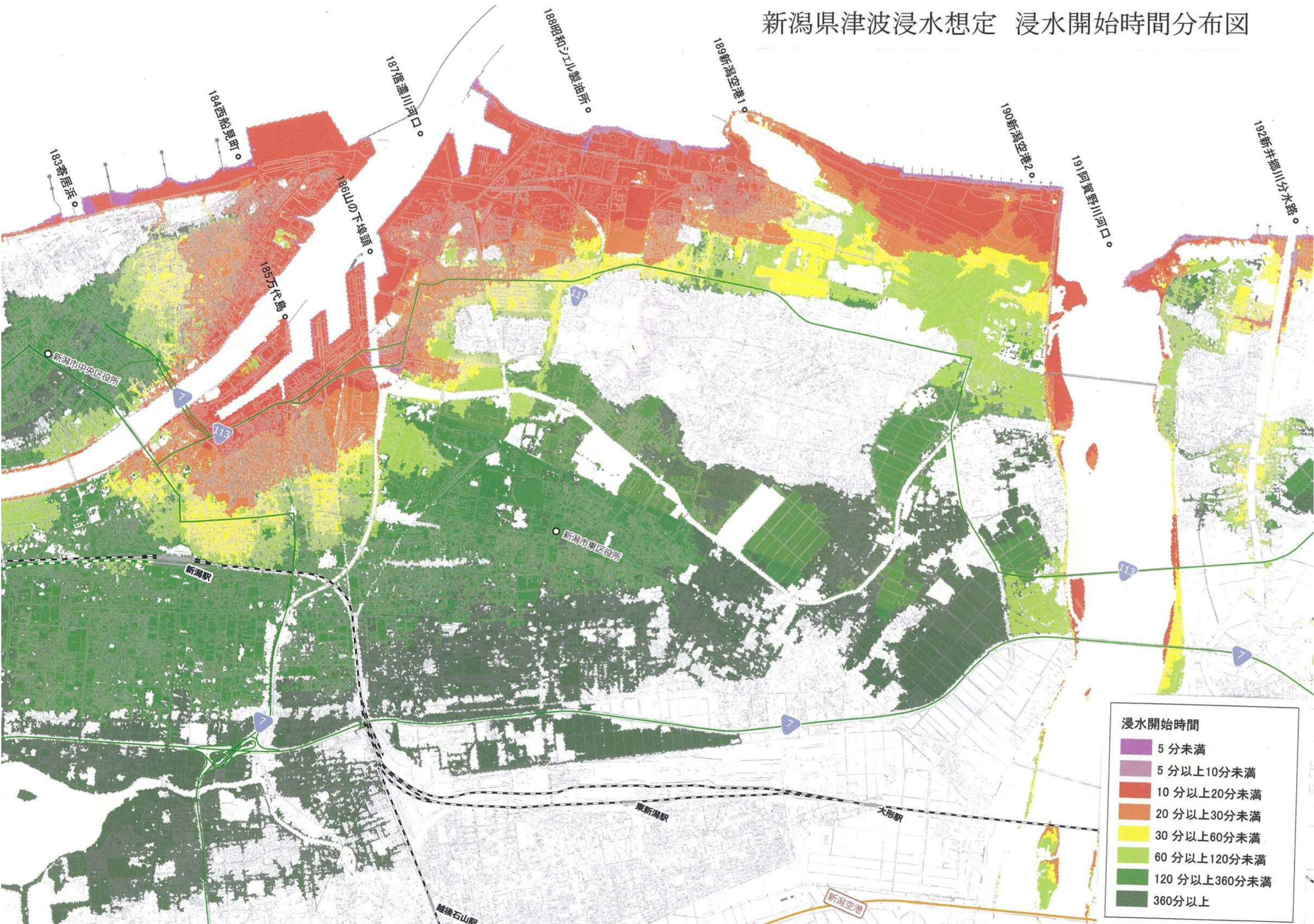


図 1 - 2 H25 公表の津波断層モデルの位置図

新潟県津波浸水想定 浸水開始時間分布図








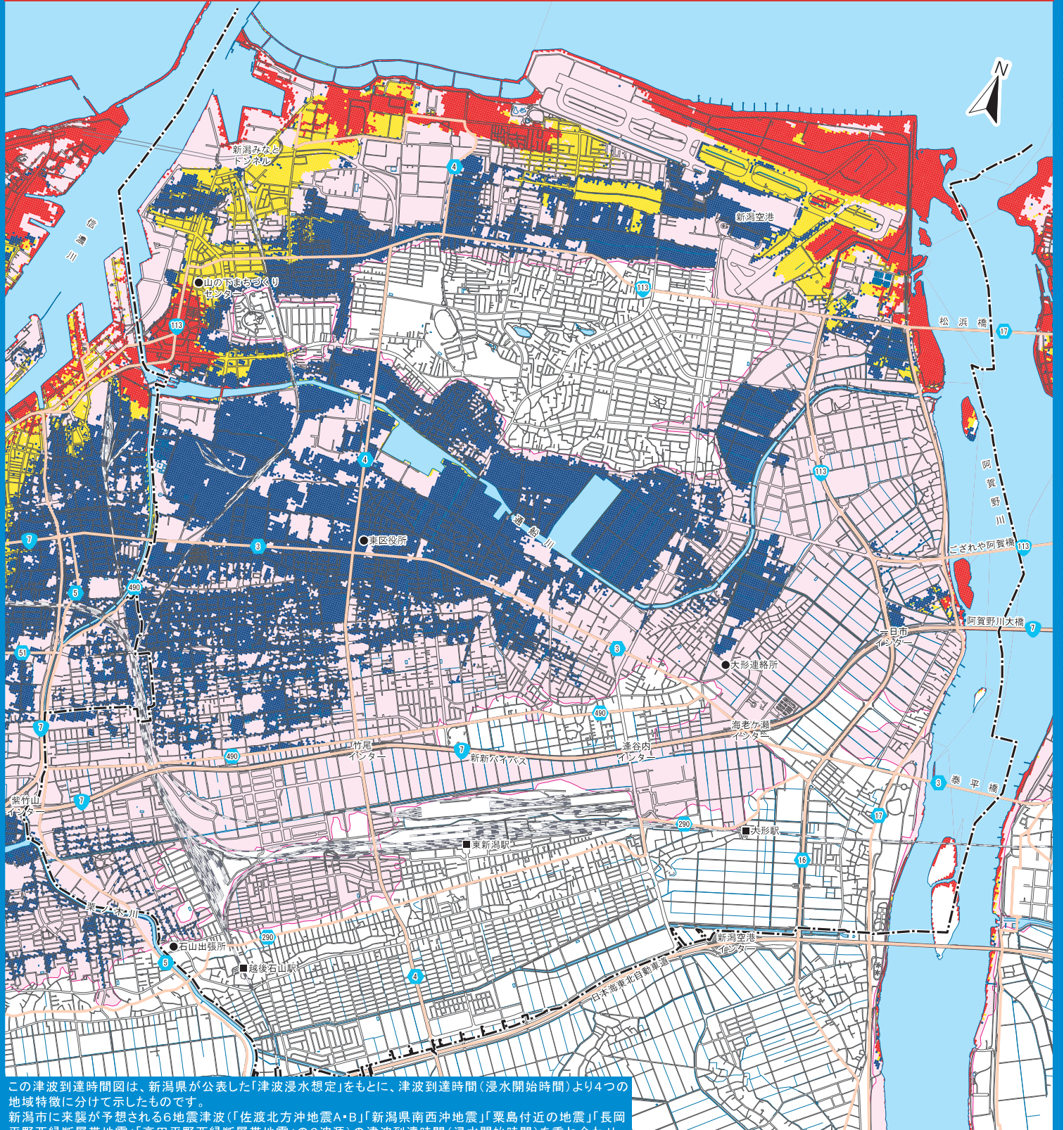
東区津波到達時間図

0 500 1000 1500 2000 2500 (m)

新潟県津波浸水想定（平成25年度）津波到達時間図

津波による4つの地域特徴

| | | | | |
|---|--|--|--|--|
|  沿岸・沿川地域 （緊急避難地域） 発災～30分未満に 浸水が予想される地域 |  河川遡上地域 （早期避難地域） 30分～2時間未満に 浸水が予想される地域 |  低平地浸水地域 （長期湛水地域） 2時間～約7日後に 浸水が予想される地域 |  避難者受け入れ地域 |  避難対策 区域 |
|---|--|--|--|--|



この津波到達時間図は、新潟県が公表した「津波浸水想定」をもとに、津波到達時間（浸水開始時間）より4つの地域特徴に分けて示したものです。
 新潟市に襲撃が予想される6地震津波（「佐渡北方沖地震A・B」「新潟県南西沖地震」「粟島付近の地震」「長岡平野西縁断層帯地震」「高田平野西縁断層帯地震」の6波源）の津波到達時間（浸水開始時間）を重ね合わせ、津波到達時間（浸水開始時間）が始まる予想結果を色分け表示しています。
 また、6地震（6波源）による津波浸水範囲以外に「新潟市に想定される2つの3連動地震」による津波浸水範囲についても避難対策区域としてピンク色で表示しています。これらについては、より発生確率は低くなっていますが、避難対策は必要です。
 ●0.2m未満の浸水区域は表示されていません。
 尚、この津波浸水想定は中小河川（通船川・栗ノ木川）の影響は考慮されていない暫定版です。


新潟市東区役所
 [お問い合わせ先]
 総務課安心安全係
 〒950-8709新潟市東区下戸1-4-1
 電話 025-250-2720 FAX 025-273-0176
 平成27年4月改訂
 メールアドレス somu.ecity.niigata.lg.jp

この地図は、新潟市の承認を得て、新潟市発行の2千5百分の1地形図を複製したものである。（承認番号）平25新都第353号の2